第6講 【近代編】帝国主義の発展

PART1 第二次産業革命と帝国主義

Chapter1 第二次産業革命と帝国主義の成立

目標 第一次産業革命とは異なる，第二次産業革命の特徴を知ろう。
帝国主義がどのようなものか理解しよう。

1 第二次産業革命

①**第一次産業革命**（18世紀後半～）→中小企業でも可能

A **石炭**を原料とした**蒸気力**が動力源

B 繊維（綿・絹）などの**軽工業中心**

② 19世紀後半は「科学の世紀」として発明が進む

A **レントゲン**（独）のX線や**キュリー夫妻**（仏・ポーランド）のラジウム放射線

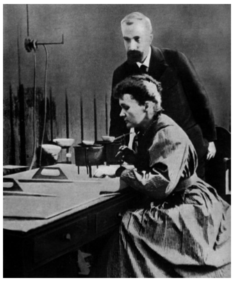
B ［　　　　　　　　］（米）の蓄音機・白熱電球・映写機

C ［　　　　　　］（スウェーデン）のダイナマイト

D **ベル**（米）の電話

E **ダイムラー**（独）の自動車

F **ディーゼル**（独）のディーゼル機関



キュリー夫妻

③**第二次産業革命**（1870年代～）

大企業〔産業資本〕が大銀行〔銀行資本〕と結びつき，巨大な**金融資本**として市場を支配。特に**アメリカ・ドイツ**を中心に，**カルテル**〔企業連合〕・**トラスト**〔企業合併〕・**コンツェルン**〔企業統合〕が形成されて巨大な［　　　　］も登場し［　　　　］**資本主義**化が進む。

A ［　　　　］を原料とした［　　　　］が動力源

発電機・ガソリンエンジン・ディーゼルエンジンの開発

B ［　　　　　］**工業**中心

鉄鋼・アルミニウム・電気機械などの**重工業**＋肥料・染料などの**化学工業**

④急速な工業化の影響

A 工場労働者数を増大させ都市化が進展

B 農業や中小工場が圧迫され人々の生活基盤や環境が激変

C　伝統的経済基盤を破壊された人々が〔　　　　〕となり国を離れる

19 世紀後半以降はヨーロッパからアメリカへの移民が急増→「移民の時代」

2　帝国主義の成立

①〔　　　　〕**主義**（1870年代～）

欧米列強や日本が採用した，〔　　　　　　〕や勢力圏を広げる対外膨張主義で，その政策を**世界政策**と呼ぶ。

A　産業革命による資本主義の発展→**資本輸出**が活発に

資源供給地・輸出市場として植民地・占領地の重要性の見直しが進む

※ 1870年代からの長期的な不況（＝低成長時代）の影響もあった。

B　新たな植民地獲得の動き（＝帝国主義）→「白人の責務」？

ヨーロッパ近代文明および白人の**人種的優越意識**が背景→文明と野蛮

あ　ヨーロッパにおける交通・情報手段の発達と軍事力の圧倒的優勢

い　大衆の不満を外にそらす対外膨張策

う　国民的統合を強化し**排他的ナショナリズム**を鼓舞する必要性

え　移民の増加も植民地必要論の口実となった

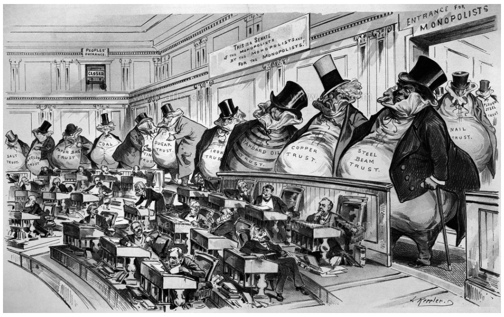
C　列強がアジア・太平洋・アフリカへ殺到→列強間の格差も拡大

あ　イギリス・フランスは第一次産業革命時から上位国

い　アメリカ・ドイツは第二次産業革命時から工業力で英仏を抜く

う　オーストリア・ロシアは多民族国家として民族運動に直面

え　イタリア・日本は工業化が遅れた下位国



独占資本主義を描いた風刺画

まとめ

第二次産業革命では，動力は石油・電力で，重化学工業が中心となった。

帝国主義は，西欧列強や日本が採った対外膨張主義のことをいう。

Chapter2　列強の帝国主義と国内情勢

目標
イギリスやフランスを脅かした存在について考えよう。
第１・第２インターナショナルには，どんな人が集まったのだろう？

1　欧米の帝国主義

ドイツが**再配分〔再分割〕**を要求。列強の帝国主義的対立は，第一次世界大戦を誘発。
※大戦前のヨーロッパの十数年間は，「ベルエポック〔素晴らしき時代〕」と呼ばれた。

①〔　　　　　　　　〕→世界一の海運国として各地で**自由貿易**を推進
国外では，**自治領**のカナダ・オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカ，直接支配のインド･ビルマなど植民地を拡大。〔　　　　　　　　　　　〕**首相**は〔　　　　　　〕**運河**会社の株を買収，のちグラッドストン首相がエジプトを保護国とした。
※植民相**ジョゼフ＝チェンバレン**は, ケープ植民地首相〔　　　　　　　　　　　　〕を支援して**南アフリカ〔ブール〕戦争**を起こした（1899～1902年)。

1906年　フェビアン協会が発展し〔　　　　〕**党**となる
※バーナード＝ショー・ウェッブ夫妻を中心とした社会民主主義が政党に結実。

1914年　**アイルランド自治法**が制定されるが実施延期
※独立を主張するシン＝フェイン党が，イースター蜂起を起こし鎮圧される。

②**フランス**→第三共和政の下で工業力はアメリカ・ドイツ・イギリスに及ばず
国外では，**銀行の資本力**を武器に 1880年代から植民地拡大政策を実行し，インドシナ半島やアフリカなどに植民地を形成。
※ビスマルク体制下でフランスは国際的に孤立していたが，1890年代以降，〔　　　　〕**同盟**（1891〔94〕年)・**英仏協商**（1904年）を締結し，ドイツに対抗した。

1887年～ブーランジェ事件（～89年）→元陸相のクーデタ未遂
1894年～**ドレフュス事件**（～99年）→ユダヤ系大尉をドイツのスパイ容疑で逮捕
1905年　フランス**社会党**の結成

ヴィルヘルム２世

③**ドイツ**→〔　　　　　　　　　　〕**２世**が宰相ビスマルクを辞職させ親政開始
「〔　　　　〕**政策**」の名の下に強引な帝国主義政策を推進，海軍を大拡張しイギリスと対抗。国外のドイツ人を統合して大帝国建設を目指す，パン＝ゲルマン主義を提唱。

1912年　**社会民主党**が帝国議会第一党となる

※党内に**ベルンシュタイン**ら修正主義〔社会民主主義〕も現れる。

④**ロシア**→東アジア・バルカン半島への〔　　　　　〕**政策**を推進

1890年代，露仏同盟を結ぶフランスからの資本導入により資本主義が発展。国内市場が狭いこともあり，〔　　　　　　　　　　　　〕建設などの国家事業により開発を進める。

1898年　**ロシア社会民主労働党**結成

※ 1903年，レーニンらのボリシェヴィキとプレハーノフらのメンシェヴィキに分裂。

1904年　日露戦争（～05年）→敗戦によりツァーリズム動揺

1905年　血の日曜日事件→首都サンクトペテルブルグにおける**第一次ロシア革命**の発端

※労働者の自治組織**ソヴィエト**〔評議会〕も各地で結成，海軍で戦艦ポチョムキンの反乱も起こった。

※〔　　　　　　　　〕**2世**が十月宣言を発し，憲法発布と国会〔ドゥーマ〕開設を約束，自由主義者ウィッテを首相に登用するも，再び専制を強化。

⑤〔　　　　　　　　〕→ 19 世紀末に世界一の工業国となる

A　共和党第 25 代大統領〔　　　　　　　　　　　　〕→モンロー主義を放棄

1898年に**アメリカ＝スペイン〔米西〕戦争**で勝利し中国には翌年に**門戸開放宣言**

※〔　　　　　　　　　　〕・**グアム**・プエルトリコを獲得し，キューバを保護国化。

※**リリウオカラニ女王**も退位させ，1898年に〔　　　　　　〕**王国**も併合。

B　共和党第 26 代大統領**セオドア＝ローズヴェルト**→「**棍棒外交**」でカリブ海政策を推進

C　共和党第 27 代大統領**タフト**→「〔　　　　　〕**外交**」で中米・中国への投資を推進

D　民主党第 28 代大統領**ウィルソン**→「**宣教師外交**」で**パナマ運河**の管理権を握る

2　国際的諸運動の進展

①**赤十字条約**の締結（1864年）→スイスの〔　　　　　　　　〕が発案

②**第1インターナショナル**の結成（1864～76年，**ロンドン**）→マルクスが指導者

③**第2インターナショナル**の結成（1889年，〔　　　　　〕）→ドイツ社会民主党が中心

④**国際オリンピック大会**の開始（1896年，**アテネ**）→さまざまな**近代スポーツ**が登場

まとめ　ドイツが急成長し，再分割を要求してイギリス・フランスに対抗した。
第1・第2インターナショナルには，欧州の社会主義者が集まった。

第 6 講　PART1　確認問題

1 第二次産業革命で，動力源となった燃料と発達した工業の種類の組合せとして正しいのはどれか。

① 石油ー軽工業　② 石油ー重工業
③ 石炭ー軽工業　④ 石炭ー重工業

2 19 世紀後半に，ラジウム放射線を発見したのはだれか。

① ベル　② エディソン
③ レントゲン　④ キュリー夫妻

3 19世紀後半に，蓄音機・白熱電球・映写機を発明したのはだれか。

① エディソン　② ノーベル
③ ディーゼル　④ ダイムラー

4 第二次産業革命で形成された，企業合併と呼ばれる独占の一形態を何というか。

① カルテル　② コングロマリット
③ トラスト　④ コンツェルン

5 第一次産業革命の動力源はどれか。

① 水と水力　② 石炭と蒸気力
③ 石油と電力　④ ウランと原子力

6 欧米列強や日本が採用した，植民地や勢力圏を広げる対外膨張主義を何というか。

① 共産主義　② 帝国主義
③ 軍国主義　④ 重商主義

7 スエズ運河会社の株を買収したイギリスの首相はだれか。

① ディズレーリ　② ジョゼフ＝チェンバレン
③ グラッドストン　④ セシル＝ローズ

8 1894年にスパイ容疑で逮捕された，フランスのユダヤ系大尉はだれか。

① ベルンシュタイン　② ドレフュス
③ ゾラ　④ ブーランジェ

9 「棍棒外交」でカリブ海政策を推進したアメリカの大統領はだれか。

① タフト　② マッキンリー
③ ウィルソン　④ セオドア＝ローズヴェルト

10 1889年にパリで結成された国際的な社会主義運動組織はどれか。

① 第1インターナショナル　② 第2インターナショナル
③ 第3インターナショナル　④ コミンフォルム

第 6 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②

第二次産業革命では，石油を原料とした電力が動力源となり，鉄鋼などの重化学工業が発達した。

①：軽工業は，第一次産業革命で発達した。
③：石炭は，第一次産業革命で動力源となり，軽工業は第一次産業革命で発達した。
④：石炭は第一次産業革命で動力源となった。

2 解答：④

ラジウムとポロニウムの分離に成功し，1903 年にノーベル物理学賞を受賞した。

①：電話を発明したアメリカの発明家。
②：蓄音機・白熱電球・映写機を発明したアメリカの発明家。
③：X 線を発見したドイツの物理学者。

3 解答：①

アメリカの発明家で，1000 件以上の発明をしたことから「発明王」と呼ばれた。

②：ダイナマイトを発明したスウェーデンの技術者。
③：ディーゼル機関を完成させたドイツの機械技術者。
④：ガソリン自動車を完成させたドイツの機械技術者。

4 **解答：③**　同種産業の複数の企業が，独立性を捨てて合併すること。

①：企業連合のことで，同種産業の複数の企業が独立性を保ったまま協定を結ぶこと。
②：複合企業のことで，合併・買収（M & A）により形成される巨大企業のこと。
④：企業統合のことで，親会社が各分野の企業を子会社として重層的に支配すること。

5 **解答：②**　第一次産業革命では，石炭を原料とした蒸気力を動力源として，軽工業を中心に発達した。

③：第二次産業革命の動力源。

6 **解答：②**　帝国主義に基づく政策を世界政策という。

①：財産の私有を否定し，生産手段や生産物などすべての財産を共有することで，貧富の差のない社会を目指す思想。
③：軍事力の強化を最重要視し，政治，経済，教育，文化などは，軍事力強化のために行う必要があるとする思想。
④：商工業を重視し，産業を保護・発展させることで，国家の富を充実させようという思想。

7 **解答：①**　保守党の政治家で，スエズ運河買収のほかインド帝国成立など，帝国主義政策に転換させた。

②：植民相として，南アフリカ〔ブール〕戦争など，帝国主義政策を推進した。
③：エジプトを保護国としたほか，自由貿易政策を推進した。
④：イギリスのケープ植民地政府の首相として，植民地拡大を強行した。

8 **解答：②**　ドイツのスパイ容疑で終身刑を宣告されたが，のちに真犯人が判明し無罪となった。

①：修正社会主義〔社会民主主義〕を唱えたドイツ社会民主党の理論家。
③：ドレフュスを弁護したフランスの作家。
④：フランスでクーデタ未遂事件を起こした元陸相。

9 **解答：④**　共和党第 26 代大統領で，アメリカ帝国主義政策を推進した。

①：「ドル外交」で中米・中国への投資を推進した共和党第 27 代大統領。
②：モンロー主義を放棄した共和党第 25 代大統領。
③：「宣教師外交」でパナマ運河の管理権を握った民主党第 28 代大統領。

10 **解答：②**　ドイツ社会民主党が中心になって結成されたが，第一次世界大戦で崩壊した。

①：マルクスが指導者となり，1864 年にロンドンで結成された。
③：ロシア共産党を中心とした世界共産党組織で，1919 年に結成された。コミンテルンとも呼ばれる。
④：ソ連がアメリカのマーシャル = プランに対抗して 1947 年に結成した各国共産党の連携のための国際組織。